



大船渡市議会議員 佐藤優子 活動報告

編集・発行責任者：佐藤ゆうこ後援会

ゆうこだより

2023 年7月発行

Vol.

9

○1974 年 7 月 31 日生 日頃市町出身・現在大船渡町下平在住

○経歴／日頃市小学校・日頃市中学校・大船渡高校・東北学院大学経済学部卒業、衆議院議員秘書、NPO 法人職員などを経て、株式会社カメラリア社中を起業。2020 年 4 月から大船渡市議会議員〔議会の所属〕総務常任委員会委員・議会運営委員会副委員長・大船渡地区環境衛生組合監査委員



ゆうこの毎日

2023 年4月～6月

日々の活動は Instagram などの SNS で発信していますが、ご覧いただいている方に【ゆうこ・あるく】だね！とお声がけをいただくようになりました。とてもうれしいです。さて、おおふなぽーと第1駐車場の車止めに気が付かず、“つまずいて危ない！”というお声をいただきました。担当課に相談をし、夜間でも分かるよう、夜行シートを貼る対応をしてもらいました。とはいえ、くれぐれもお気を付けください。市政についてお気づきのことがありましたら、お気軽にお聞かせください。



ジェンダー平等を語る会



4月

4月2日■2011 年より法律相談を開催いただいているヒューマンライツナウの副代表・千葉大後藤先生、伊藤弁護士を迎えて。

赤崎町後ノ入「ホットの会」



4月27日■毎月1回、お歌をうたいおしゃべりの場。高齢者の移動手段について、切実な現状をお聞かせいただきました。

大船渡まちもり大学 令和5年度・オープニング



4月29日■ゲストのトークセッション後は、グループトーク。「大船渡は面白い」移住してきた方の発言でテンションUP！

大船渡の子ども食堂 「うみね子ども食堂」



5月

5月5日■市内から食材など沢山のご支援をいただき、子育て世代の応援として開催。この日は5名の高校生もスタッフとして参加。

大船渡市消防団 第3分団放水訓練



5月14日■R5 度大船渡市消防演習終了後、第3分団は大船渡魚市場にて放水訓練。消防団員みなさんの日々の活動に感謝です。

三陸町甫嶺 「ほれい花公園」



6月

6月24日■三鉄沿線花プロジェクト・夢ネット大船渡さんと甫嶺地域のみなさんと一緒に、サルビアとさつまいもの苗植え作業を。

大船渡のご当地サーモン 盛川フレッシュサーモン・出荷



6月27日■盛川漁協が猪川町内の養殖施設で育てるニジマス“盛川フレッシュサーモン”。6月8日から出荷開始したということで、早朝4時現場へ。主力魚種不漁の昨今、「育てる漁業の誕生を地域として認知し、この先を見据え本気になって考えていかなければ」買受人さんの言葉も印象的。程よい脂のり、さっぱりして、おいしいよ！



みんなのおもいをカタチに「みんなでどっぺし！ おおふなと」



左) 加茂神社手踊り組
右) 6月23日
「みんなでどっぺし！」
顔合わせ練習会



5月3日加茂神社式年大祭がお天気のもと開催。立切として行列で歩かせていただいた後、手踊りにも参加。今回、地域の枠を超え結成された手踊り組はみんな踊りっこ好き。お祭り後の慰労会で、「大船渡夏まつりの道中踊りに参加したいけど、はまれるところがない。どうにか参加したい！」との声。みんなのおもいが集まり、道中おどりに参加したい市民の“受け皿”となるべく市民団体を結成。大船渡を盛り上げるのは、市民のみなさん一人ひとり。みんな、はまっぺし！

まずは歩いてみる「みちのく潮風トレイル・三陸ジオパーク」

地域資源を活用した、あらたな観光資源ともなりうる「三陸ジオパーク」「みちのく潮風トレイル」に関わる様々なイベントが催されています。地元のいいところ、再発見！



左) 5月27日■「基石海岸ジオさんぽ」第1回目は『三陸ジオパーク超々々入門』 中央・右) 6月16日■地元名物ガイドと歩く、みちのく潮風トレイル大船渡編「おおふなトレイル」第1回目は綾里～塩と水の道編～に参加しました。



1. パートナースhip宣誓制度導入について

～全国・岩手県のうごき～

- 全国的にパートナーシップ制度導入の動きが広がっています。
- 岩手県では、県内市町村におけるパートナーシップ制度の導入を促し、誰もが生きやすい地域社会の実現を図るため、令和5年3月に「**岩手県におけるパートナーシップ制度の導入に関する指針**」を策定しました。

《岩手県：パートナーシップ関係にある方が利用できる制度》

- ①県営住宅への入居 ②県立病院での面会手続き、病状説明等
- *今後、サービスの拡充について検討していく

- 県内では既に一関市と盛岡市が導入しており、9月をめどに宮古市も導入を予定しています。

ゆうこの視点



大船渡市の第5次男女共同参画行動計画では、「**パートナーシップ制度**」の検討時期は、R6年度から9年度。しかし、近年の社会情勢の急激な変化に後れをとらないように、検討時期を早め、**早期に導入すべき!**と感ずることから、今回議論しました。

優子：当市におけるパートナーシップ宣誓制度の必要性和検討状況は？

答弁：市長 R4年度実施男女共同参画社会に関する市民アンケートから

LGBTについて自分や家族、知人の問題としてある	12.0%
性的少数者の人権を守るために必要と思う取組みとして、パートナーシップ制度を含む法制度が必要	5.6%

この結果から、性的少数者に属する人が一定数いること、当該制度を望む市民の意向があることが明らかに。国会においても、性的少数者の差別解消や理解増進などに係る法案が審議されており、社会的に性の多様性を重視する動きが活発化している状況にある。**取組期間を前倒し、早めの対応を強く意識しながら、当該制度の検討を進めていく。**

優子：ファミリーシップ制度も同時に検討していくべき

答弁 性別や性自認、性的指向などにかかわらず、**誰もが大切なパートナーや家族とともに、自分らしく生きていくことが肝要。**実態として家族として暮らしているのであれば、そこに不利益や生きにくさを感じることがないように、ファミリーシップ制度を併せて検討。より良い方向を見いだしていく。

ゆうこの視点 ●機運の醸成が高まるのを待つのではなく、早期に制度設計・導入し、理解促進に努める考え方もある。今年度予定されている、男女共同参画のための市民会議では、導入可否の議論より、どうしたら市民理解が深まるか、話題として取り上げてほしいと意見を述べました。

●性的マイノリティーの方などの権利を守ることはもちろんですが、死別・晩婚化・未婚・ひとり親世帯など家庭環境は様々。同性でも異性でも、身近な方をパートナーとして認めていくことは、自助・共助という観点からも、人口減少・高齢化が加速化する地方における、持続的な社会形成への課題解決にもつながるように感じます。



ゆうこの用語辞典



● **パートナーシップ制度：** お互いに人生のパートナーとすることを誓い合ったお二人について、自治体はその誓約を受理したことを証する制度。行政や民間のサービスを配偶者や生計同一者と同等に受けられることが期待されています。婚姻制度とは異なり、法律上の効力が生じるものではありませんが、誰もが自分らしく暮らしていけるよう、自治体が応援するもの。

● **ファミリーシップ制度：** パートナースhip制度を宣誓した二者に関して、子や親などの近親者も、家族関係を自治体として公に証明する制度。自治体サービスの一部や日常生活における保育園の送迎、医療機関での手続など、家族として行うことが可能となります。

2. 震災伝承と災害対策について

来年3月、みなと公園展望広場内に東日本大震災追悼施設が設置されます。みなと公園の整備方針「海とまちのつながり」を感じられるような景観づくりが行われます。

優子：市民団体による、防潮堤を活用した取組みが始まっている。大船渡発の防潮堤を活用した景観づくりとなるよう、しっかりとしたガイドラインを設け、官民一体となった取組みにすべきと考えるが？

答弁 防潮堤活用は大船渡駅周辺地区のにぎわい創出や海沿いの景観向上につながる。円滑に事業を進めていくために、全国的にあまり事例がなく苦慮が予想されるが、**今年度をめどにガイドラインを策定。**県と協議中だが、防潮堤のデザインについては区域を分ける「ゾーニング」を検討。

ゆうこの視点 現在2つの団体が防潮堤活用の取組みをはじめています。それぞれの特徴を活かし、にぎわい創出に結びつけるためにもルールが必要と、これまでも意見してきました。防潮堤の活用を応援する立場として、大船渡が『防潮堤アート』の街となることを願い、専門家を交えたガイドライン作成に期待したい。加えて、周辺の草木や路面整備についても要望しました。



三陸ブルーラインP「タイラート」3か月の展示期間を終え惜しまれながらも撤収

優子：津波発災時の車避難について、方針を定めた沿岸自治体もあるが、当市の検討状況は？

答弁 徒歩避難が原則。当市は高台までの距離が比較的短いので、車避難の重要性は低いとの認識。昨年11月に設置された岩手県地震・津波減災対策検討会議が自動車避難のルールを夏頃までに取りまとめる。その報告書と他自治体を参考に今年度内に検討したい。

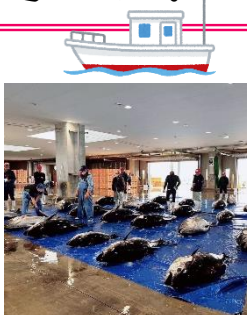
ゆうこの視点



他自治体は県の報告書を待たずして検討をはじめています。地理的要件は各地で異なるので、専門家の知見も交えながら、独自に、早急な検討が必要と考えます。当市が検討に至らないのは、この計画を担う、防災管理室の体制に問題はないか、人員の増員についても意見として述べました。

5月31日全員協議会：R6年度予算に関わる対国・対県要望について

クロマグロの漁獲可能量の岩手県分の増枠や、漁獲規制量以上となり、やむを得ず、定置網にかかったクロマグロを放流せざるをえない状況、数量など含め、国にその実態を訴えることなど、産地の現状を要望項目に加えるべきとの議論をしましたが、新規追加は叶わず。今後も懲りずに声をあげていきたいと思っています。



市政への疑問・質問、地域でのお困りごとなど、お気軽にお聞かせください！

住所：〒022-0002 大船渡市大船渡町字下平 14-1

電話：090-7283-0348 FAX：0192-22-7726

E-mail：yuko.ofunato@gmail.com



大船渡の未来はみんなで作る